

特許業務支援AI「サマリア」の核心的強みと活用モデル

主要AIツール比較1位である「サマリア」の製品優位性と、ROIを最大化する二層運用モデルを簡潔に伝える。

現役弁理士が設計した「サマリア」は、国内主要AI特許ツール比較で総合第1位を獲得した統合知財プラットフォームです。

10万件の審査データに基づく高い検索精度と、汎用AIと直結する「サマリアMCP」を活用した二層運用により、知財業務の劇的な効率化と全社展開を実現します。

競合を圧倒するサマリアの核心的強み



主要特許AIツール6製品比較で
総合第1位獲得（39/45点）

調査・権利化領域で満点を獲得し、
IPランドスケープ領域でも高得点を記録。



拒絶理由10万件のシソーラスによる
再現率100%の検索精度

特許検索競技大会の過去問検証にて、
上位30件の査読で正解文献を全件捕捉。



校閲記録付きWord出力による
シームレスな実務連携

意見書・補正書から無効審判請求書まで、
人間が修正しやすい形式で自動起案。

ROIを最大化する「二層ハイブリッド運用モデル」

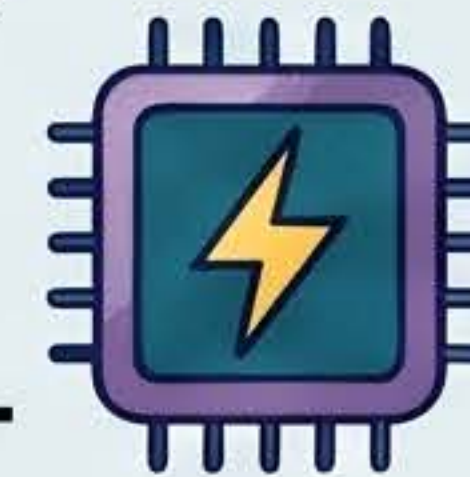


第1層：サマリアMCPによる
対話的探索・観点設計

汎用AIから特許DBへ直接接続し、
指示数を消費せず自由な壁打ち
が可能。



第2層：サマリア本体による
専門解析・一括バッチ処理
MCPで定めた観点に基づき、
網羅的母集団の形成や大量スクリー
ニングを一括実行。



¥月額1,230円

100名利用時で1人あたり
実質月額1,230円の全社展開

メンバー管理オプションの活用で、R&D部
門も含めた全社利用を低コストで実現。